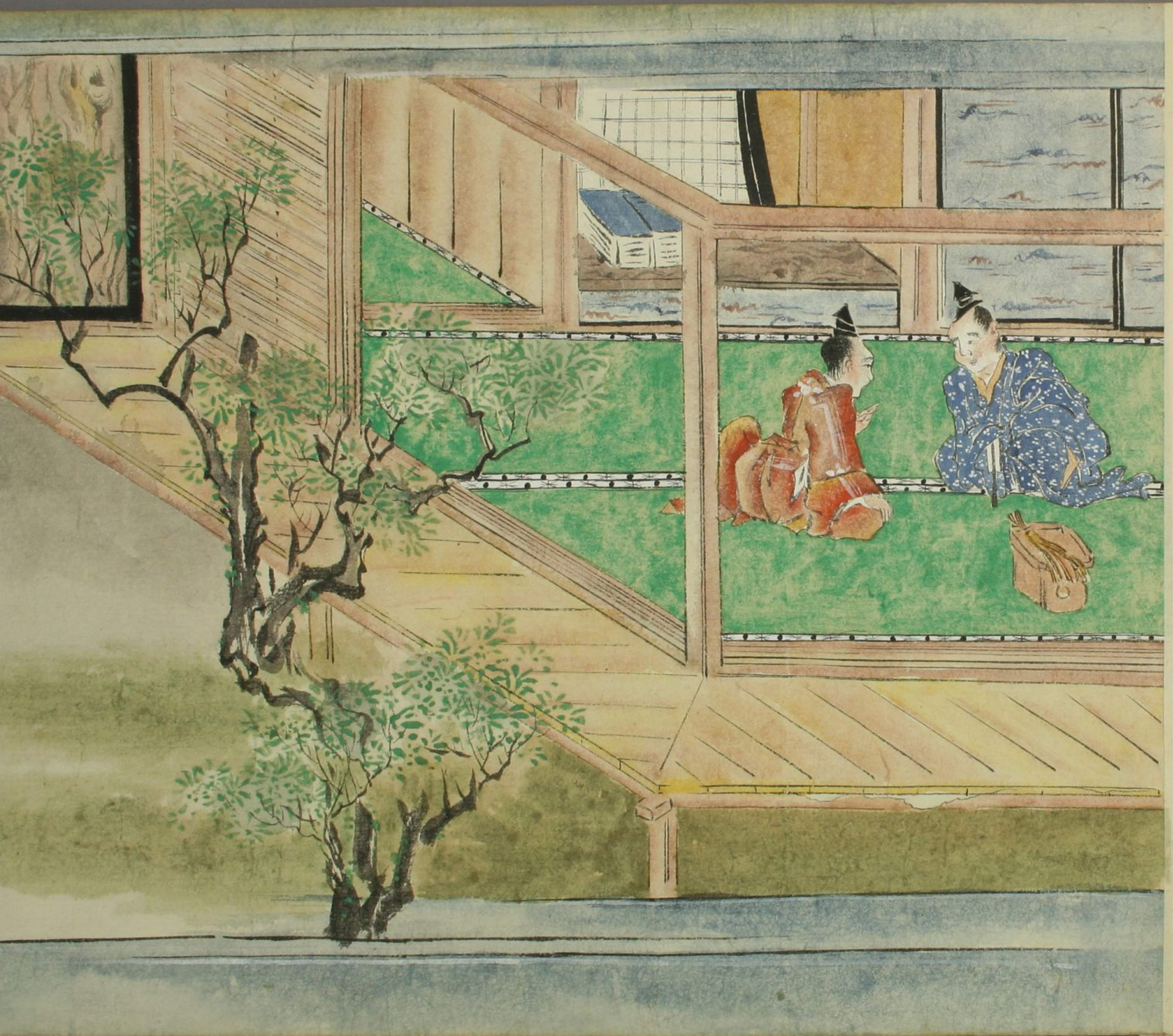


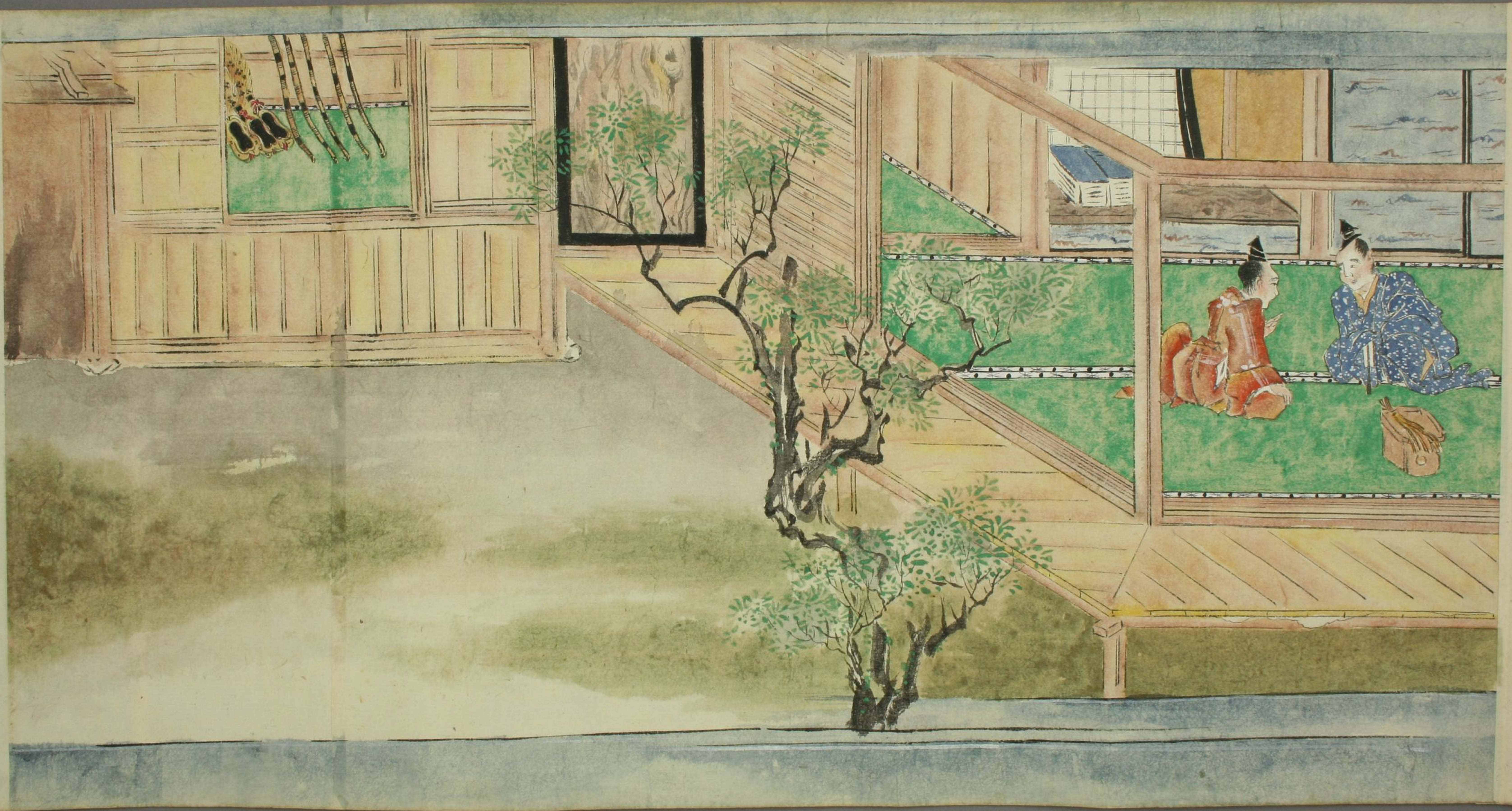


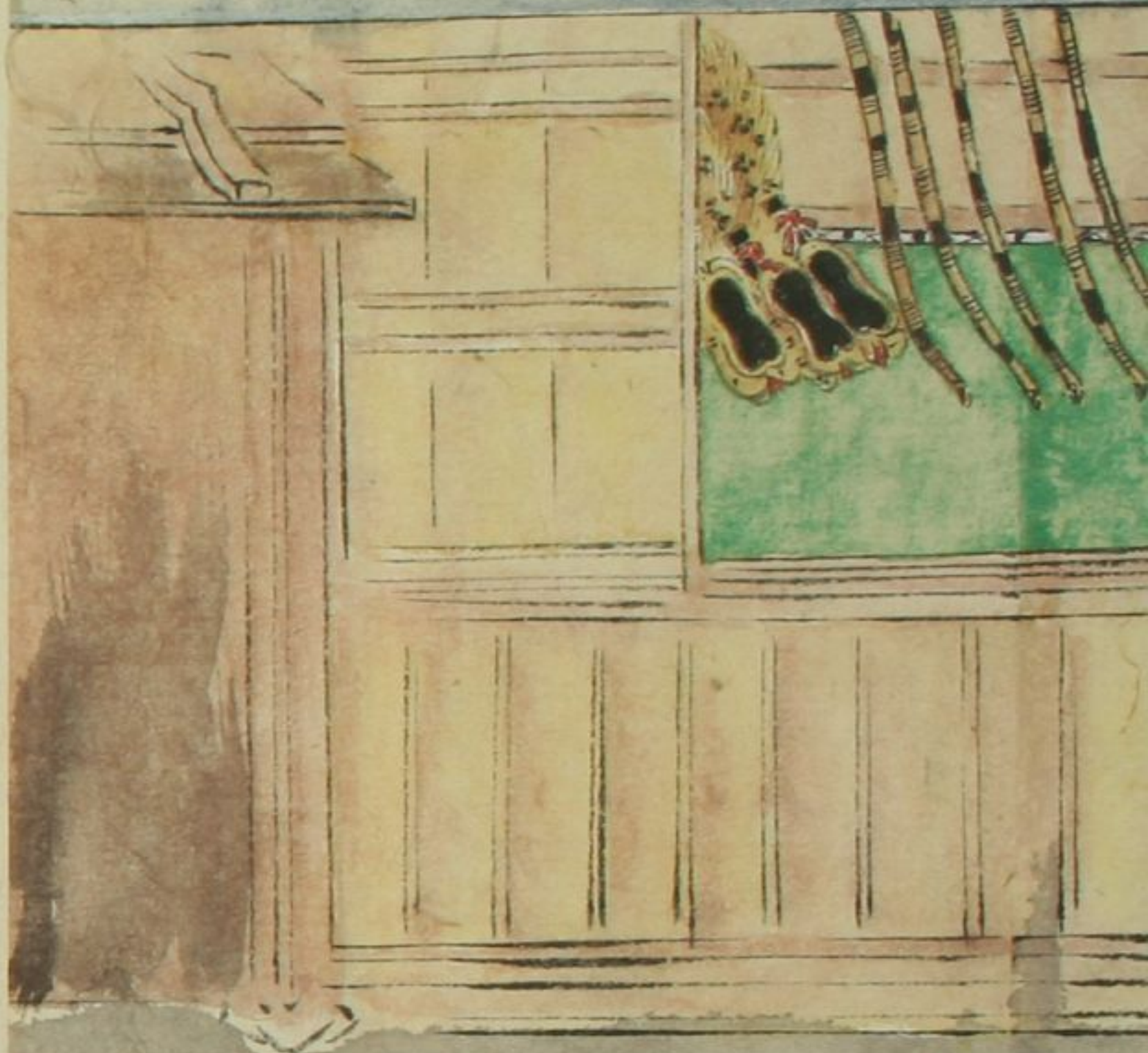
森は是くらとの本の一そんよに内園  
志の海み梯部脚と一者の子よさく  
左隣ると一者くくあやしてはあ  
海さゆまにさいあんとおの(ま)一  
者くくんくすくゆまくと一飛くく  
まよと新あす時十ふくろよあひて  
その色乃野急にさしてさくく  
ひーはくくちかん一保傍のんあ  
ま不思案はあんくめ百日くく  
寺一おうき命くめとちま一保あち  
今乃楠の海さのりと一くせよあま  
度知くく一とく一を一  
君乃ちさいをせくくのこるくは  
かくくくさん一あまくくひと保あ  
ま乃一保よほさのまよあ  
とくくくくくくくくくくく  
一とくくくくくくくくくく  
是保のくくくをくくくくく  
くくくくくくくくくくく  
やくくくくくくくくくくく





すくろらひしきいふにわいふ  
かきあかん一ほしてしてはれ  
かきあかんいよらほけん着く  
すくろらひしきいふにわいふ  
かきあかん一ほしてしてはれ  
かきあかんいよらほけん着く  
すくろらひしきいふにわいふ  
かきあかん一ほしてしてはれ  
かきあかんいよらほけん着く





返しくふたつにあらまじし  
まふとす極よれ  
よる房極あまのまて都  
とたつたりひ又極い  
かゝ一救命をてま  
してせんそめあ  
思ひつらてや  
一人もか  
みお  
ら  
諸國  
し  
山  
か  
里  
ひ  
松  
わ



しるしをたもつるにまじりて  
山ありし南方へ海ありゆく  
あつたのまじりてまじりて  
里ありし海ありてまじりて  
ひらひらとまじりてまじりて  
松吹風乃まじりてまじりて  
川通人をまじりて  
川あり





Vertical Japanese text on the left margin, likely a title or descriptive text.

Small handwritten Japanese characters on the top right margin.

Small handwritten Japanese characters on the right margin.

くらのありねもあひて通ふ程よ  
事いひともたぬ人一人田舎ら  
て音もよけふをいふと人の土、飲  
そとP時あまのさしほさしめなく  
はたえふつきてんはそよあつち  
そいふまのまも一まんまのつたの程  
とP人のさしめと一今程に  
くもよあまのさしほさしめなく  
とくあひあてはあくとあく何事  
といふ程とを我もたぬれよ思ひ  
いふめといふはあつてPもさしめ  
よよわて申さんとすれはほさしめ  
へあつたまのほあつて一何事も他は  
いふま(何事)も人よさしめなく  
く一さしめとすれはほさしめなく  
の桶あけ人としてあつたのれ  
一ふしとさしめなく  
よあつてさしめなく  
一今の桶あつて一何事も  
東京の制一何事なく  
一よよわて申さんとすれはほさしめ  
あつたまのほあつて一何事も  
いふま(何事)も人よさしめなく  
く一さしめとすれはほさしめなく  
の桶あけ人としてあつたのれ  
一ふしとさしめなく  
よあつてさしめなく  
一今の桶あつて一何事も  
東京の制一何事なく  
一よよわて申さんとすれはほさしめ



むんをいへるまうしやうもほこるま  
ふゆかきしんやつひしきしんり  
その比しきつこいふもきまよ  
るせみひけまらまいとけし大津  
にふきてしんやまひありてし日  
七日にち船里の阿控るほまのたよ  
くあそやしんはあさあましん  
るゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
あきまらりゆきゆきゆきゆきゆき  
んあまきよけ田をん—又秋は  
はゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ま—あまゆきゆきのたのしみこの  
ま—あまゆきゆきゆきゆきゆき  
あまゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
あまゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき  
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき







神あり二人のたまにりるり  
んまの事やとありひきひて申す  
のひーか申にあるおぼし  
おーとたまちくしをまき  
とひいひちちちかことたま  
いりて事すかにかのふま  
ふくしはちかひふまふ  
んやと思ひていれにけあひ  
者いふみまなるおみこと  
いひひはちりて船のり  
あしんらんちあひしひらて  
母のこをよぶ見よち  
あひひしあひしあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
福のたまひちるいの  
いひちちあひひあひひ  
たひちあひひあひひあひひ  
ちかちあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
かあひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ  
あひひあひひあひひあひひ



かきりきり〜 何となくかきりきり〜  
ささめめ〜 人かきりきり〜  
〜のさめめ〜 おどろ〜 一人な  
〜はは〜 かしこ〜  
〜のよ〜 ね〜 ほん〜  
あ〜 しく〜 ち〜  
〜 ち〜 ね〜





あまのいしをそとにあらはし  
あまのいしをそとにあらはし  
あまのいしをそとにあらはし  
あまのいしをそとにあらはし  
あまのいしをそとにあらはし



柳もほそくにみんあいの野こるぬ  
庵もまをらんほ衣乃袖しを  
くみやまを福なる半しきたりも  
ん経をし母このちたあくく  
ていと目おあさちてはまきん  
めなりかけぬのしくかりて本  
中平に露をあらくまはあはね  
やこまう母こま束乃人してち  
いおひみち平乃道はあま  
斗よけいあむ界外もあま  
しああまをまあまひんあ  
たあに女乃あしてああたら  
なむとあ月を福ちあま  
文乃あまわはあま今もあ  
あま

今かたのあ  
我しとらとあ  
主時あま  
るあまに  
あま

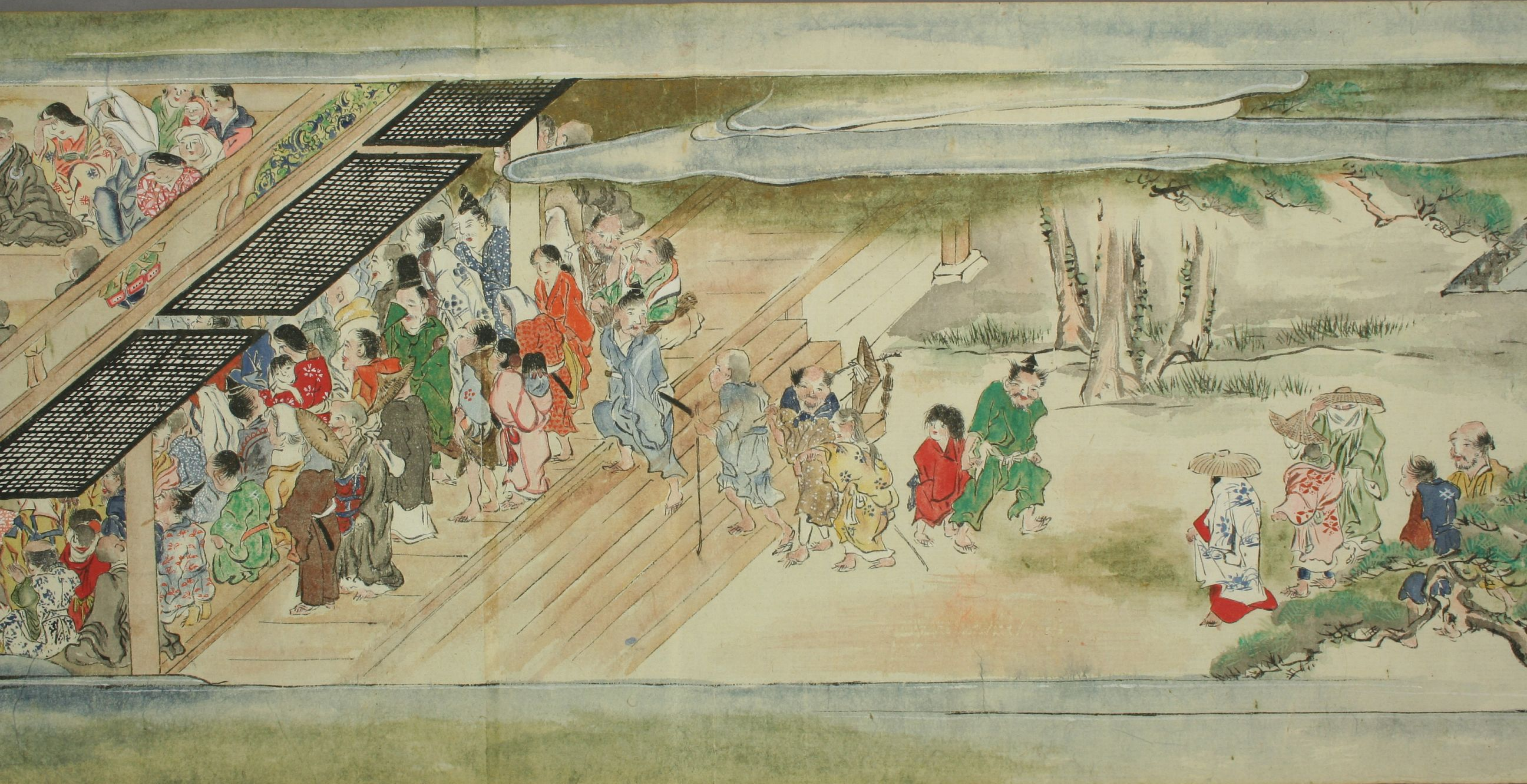


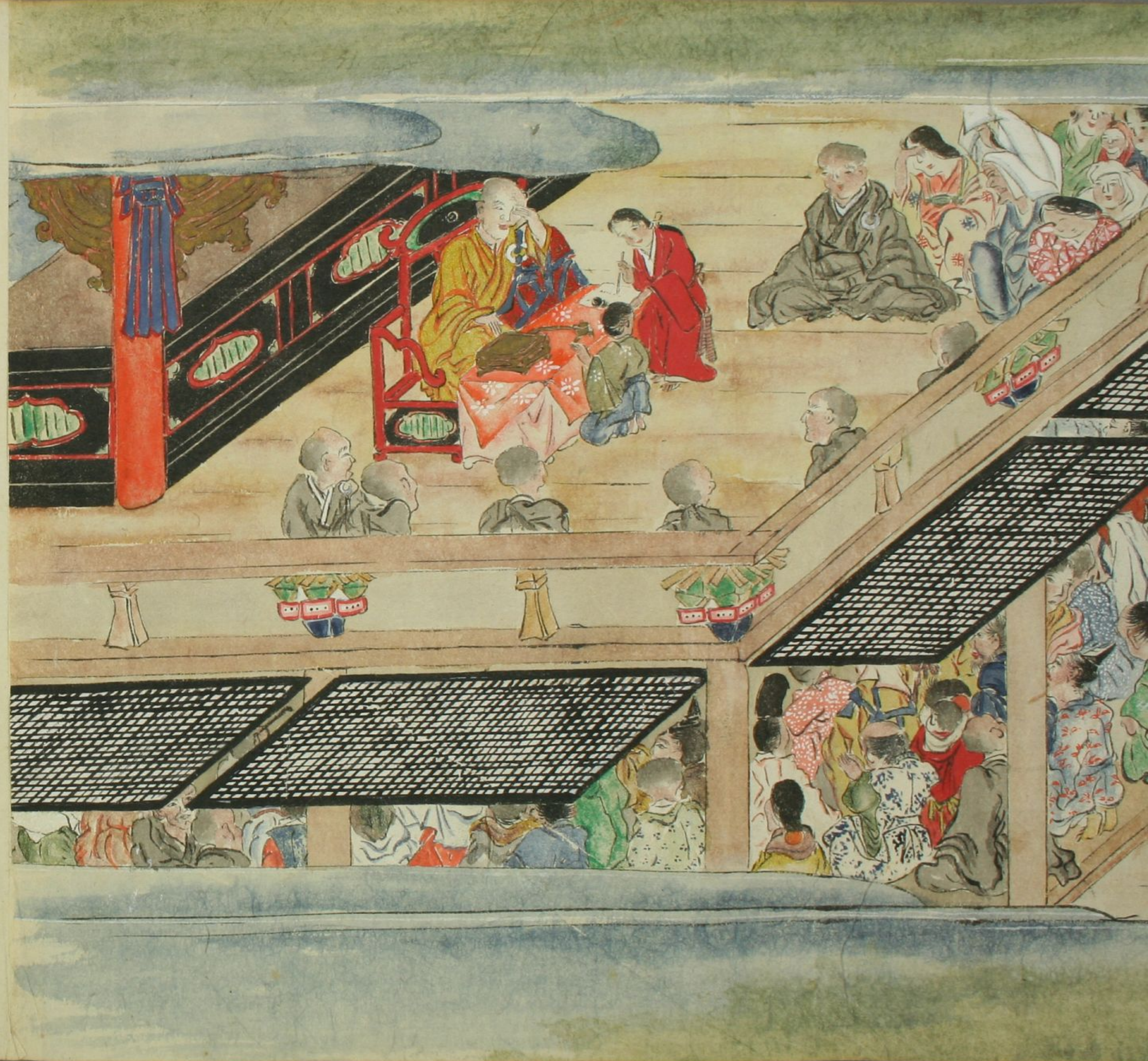






何れもおかしき人々を  
 破とわくはぬらんか  
 人をたぐはくと上人  
 何をいふはよあて  
 ことばをいふはよあて  
 ことばをいふはよあて  
 ことばをいふはよあて





上人のえあもあつて一まも乃あまゆ  
 ちんちゆいむくにもううううううう  
 まん習のさふいゆんるに老ぶあき  
 よしてはさめなれさきんけあ  
 してあやよあまん事今又  
 ちくあにあつちんもつちあつち  
 おとちんちんちんちんちんちん  
 又あちんちんちんちんちんちん  
 のちんちんちんちんちんちん  
 乃ちんちんちんちんちんちん  
 孫よあちんちんちんちんちん





是は神上人のそとにあらはれては袖を  
 りふよおし一ちてしとておしす  
 るもいふよはるちとに 名場のうり  
 俄にお免さすけお事なるあたしと  
 ことすまじしそいふくあわさほゆん  
 しやとおしんとそいふくも重保のそん  
 志の子何ぢふはなるほいとこすれと  
 といひららしとてけは山よのは  
 とPせい二人乃保えんといふ  
 物をまいたくしてたうしよ苦とる  
 うほわらしとて 梅又とて平にゆ  
 今もいふ人のPはふい桶けゆと  
 阿保いゝむくめ照してかこの  
 乃之處をあら又才をいふの  
 ちりきくしとてとてとてとて  
 こそ上もいふ今福いふらま  
 よさうあらしとていふた  
 收しとていふとていふ







竹を不思義乃大道の如く極す  
法名はあつと一也三人あいと一又  
ちんあつと一也三人あいと一又  
と我一くはあつと三人三あつと一  
ハは名に賢の字あつとは一もあつと  
かつと一もあつと一もあつと

